

マスクフィットテストのご案内

令和5年4月1日より、溶接作業者に対して、
年1回、呼吸用保護具(マスク)のフィットテストを
実施することが義務付けられました。

フィットテストとは？

金属アーク溶接等の作業で発生する溶接ヒュームは、発がん性が認められ、神経機能障害などの健康障害を引き起こすおそれがあります。

従事する労働者は有効な呼吸用保護具を使用しなければなりません。
呼吸用保護具が適切に装着されていることを、年に1回確認することが義務付けられました。

フィットテストは金属アーク溶接作業を行っている全員が対象となります。

フィットテストは年1回実施し、その記録を3年間保存することが義務付けられます。



実施内容	令和3年4月	令和4年4月	令和5年4月
溶接ヒュームの濃度の測定 現に、継続して金属アーク溶接等作業を行なっている屋内作業場は、 令和4年3月31日までに溶接ヒュームの濃度の測定を行う必要があります。			
測定結果に応じ、有効な呼吸用保護具を選択し、 労働者に使用させる			
面体を有する呼吸用保護具を使用させる場合は 1年以内ごとに1回、フィットテストの実施			

※料金等につきましては下記までご相談下さい。

ご依頼・お問い合わせ



北九州病院グループ

一般財団法人 西日本産業衛生会

環境測定センター 北九州事業部

〒805-0071 北九州市八幡東区東田1-4-8

TEL093-671-3575

環境測定センター 熊本営業所

〒861-8039 熊本市東区長嶺南1-1-7-102

TEL096-213-2040

環境測定センター 大分事業部

〒870-0155 大分市高城南町11-7

TEL097-552-8366

環境測定センター 中津営業所

〒879-0012 中津市宮夫61-1

TEL0979-85-3320

実施方法

JIS T8150 に定める方法またはこれと同等の方法により実施します。
マスクが自分の顔にフィットしているか、隙間、もれがないかを確認します。

当センターでは、最新の測定装置マスクフィットテスターを使用して
短縮定量的にフィットテストを行います。

標準法で実施した場合 約10分



短縮法で実施した場合 約5分

一人あたりのフィットテスト実施時間

測定時間(2分30秒) + マスクの着脱時間(2分30秒) = 約5分

【短縮定量的フィットテストの実施例】

半面形マスクおよび全面形マスクの場合

1. つま先に触れるように前屈して2回呼吸(50秒)
2. その場の駆け足(30秒)
3. 立った状態で頭を左右に回す(30秒)
4. 立った状態で頭を上下に動かす(40秒)

使い捨て式の場合

1. つま先に触れるように前屈して2回呼吸(50秒)
2. 発声(30秒)
3. 立った状態で頭を左右に回す(30秒)
4. 立った状態で頭を上下に動かす(40秒)

フィットテスト(フィットファクタの求め方)

$$\text{フィットファクタ} = \frac{\text{マスクの外側の測定対象物質の濃度}}{\text{マスクの内側の測定対象物質の濃度}}$$

※フィットファクタはマスクが適切に装着されているかを示す係数です。

マスクの種類	要求フィットファクタ	定量的フィットテスト
全面形面体	500	○
半面形面体	100	○

定量的フィットテストはマスクの外側、内側の濃度値からフィットファクタを求めます。
半面形面体(要求フィットファクタ100)全面形面体(要求フィットファクタ500)の
両方に対応出来ます。

